

メッセージと演奏

増尾好秋さん (ジャズギタリスト)

早大モダンジャズ研究会在籍中に渡辺貞夫グループの正式メンバーに抜擢されアプロ入り。一躍スター的人気を博す。1971年にニューヨークへ渡り、モダンジャズの巨匠ソニー・ロリンズのバンドに通算6年間に在籍するほか、リー・コニッツ、エルビン・ジョーンズなど数々のビッグアーティストと共演し「世界のマスコ」として活躍。
70年代後半から、初めて組んだ自己のバンドで『セーリング・ワンダー』『グッド・モーニング』など次々とヒットアルバムを制作。その人気も不動のものとする。2008年設立の自主レーベルSunshine Ave. Labelから『Life is Good』、『I'm Glad There Is You』を発表。現在もアメリカに拠点を置きながら日本でも積極的に演奏している。



多様性について

メッセージ

菊地幸夫さん(弁護士)

第二東京弁護士会。審判法律事務所
中央大学法学部卒業。元司法研修所刑事事件
審判教官。現在、社会福祉法人練馬区社会福
祉事業団理事、公益財団法人日本バレー
ボール協会監事も務める。また、ニュース
や情報番組など数本のテレビ番組にレギュ
ラーとして出演。弁護士業務の傍ら体力作
りにも勤しみ、地元小学生のバレーボール
チームの監督等も務めている。



岸谷 香さん(ミュージシャン)

1996年5月31日、武道館公演をもってプリンセスプリンセスを解散。
2014年、ソロ活動を本格的にスタート。
2024年には、岸谷 香デビュー40周年アニバーサリーイヤーを迎え、シングル「Beautiful」のリリース、バンドツアー【KAORI KISHITANI 40th Anniversary LIVE TOUR 2024 "57th SHOUT!"】の全国8か所開催、9月から、ひとり弾き語りツアー『40th ANNIVERSARY LIVE TOUR KAORI PARADISE 2024』と積極的な活動を展開。
2025年2月22日、23日には、恒例のライブイベント「岸谷香感謝祭2025」に森高千里、渡瀬マキ(LINDBERG)を迎えて盛大に行った。6月からはバンドでの全国ツアーも控えている。



スポーツと人権について

長崎宏子さん (元競泳オリンピック選手)

1968年、秋田市に生まれ。
12歳で水泳界に慧星のように登場。またたく間に平泳ぎ日本一となり、小学生で初の五輪代表(1980年、幻のモスクワ五輪)となる。1984年ロス五輪では、平泳ぎ100m6位、200m4位とともに入賞。1988年には三度目の五輪(ソウル)代表となる。
トップスイマーとしての経験、日本人初の国際オリンピック委員会選手委員としての業績を活かし、スポーツコンサルタントとして活動、水泳教室(ベビーアクアティクス)や講演会でより多くの人々にスポーツの楽しさを伝えている。
2007年急遽亡くなった秋田県立総合プールの名誉館長に就任。直接指導を含むアドバイザーサポートにより、プールの有効活用に貢献している。



有森裕子さん マラソン オリンピック2大会連続メダリスト

1966年岡山県生まれ。郡実高校、日本体育大学を卒業して、リクルート入社。バルセロナオリンピックで銀メダル、アトランタオリンピックで銅メダルを獲得。98年NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」を設立、代表理事に就任。2007年に現役引退後は、国際オリンピック委員会(IOC) Olympism 365委員会委員、ワールドアスレティックス(WA) カウンシルメンバー、日本陸上競技連盟 副会長、大学スポーツ協会(UNIVAS) 副会長、スペシャルオリンピックス日本ユニファイドスポーツアンバサダー等を務めている。他これまで、国際陸連(IAAF) 女性委員会委員、国連人口基金親善大使、等の要職歴任。
10年6月、国際オリンピック委員会(IOC) 女性スポーツ賞を日本人として初めて受賞。同12月、カンボジア王国(ロドム・シハモニ国王陛下より、ロイヤル・モニサラボン勳章大十字を受賞。



チャリティについて

SNSと誹謗中傷について

人権活動を始めたきっかけについて